

# 第 1 回公安委員会定例会開催状況

## 1 開催日時

令和 6 年 1 月 11 日（木）13 時 00 分～18 時 00 分

## 2 決裁事項

### (1) 非違行為報告

警察本部から、非違行為について報告を受け、決裁した。

### (2) 免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し等について報告を受け、決裁した。

### (3) 苦情の受理

警察本部から、苦情の受理について報告を受け、決裁した。

### (4) 審査請求の裁決

警察本部から、審査請求の裁決について報告を受け、決裁した。

### (5) 監査委員監査の結果

警察本部から、監査委員監査の結果について報告を受け、決裁した。

### (6) 警察職員の援助要求

警察本部から、警察職員の援助要求について報告を受け、決裁した。

### (7) 苦情の調査結果

警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。

## 3 報告事項

### (1) 岡山県警察職員定員条例の一部を改正する条例案

警察本部から、

- 少年課学校警察連絡室の時限増員された警察官 8 人を減員する一方で、マイナンバーカードと運転免許証の一体化事業に伴い、行政職員 3 人の増員を要望する。
- 定年引上げによる影響を緩和し、定員管理を適正化するため、警察官（巡査）の定員に 6 人、警察官以外の職員の定員に 1 人を加えたものとして定める定員の特例を附則として新設要望する。
- 県議会 2 月定例会に「岡山県警察職員定員条例の一部を改正する条例案」を提出す

る予定で、同定例会で可決・成立すれば、令和6年4月1日に施行される予定である。旨の報告を受けた。

委員が、

「学校警察連絡室は公安委員会としても、かなりの成果があったものと評価している。事業としては終了するが、機能や考え方は今後も引き継がれていくので、大変心強く感じている。」

旨を発言した。

## (2) 令和6年度当初予算要求概要

警察本部から、

- 令和6年度の警察費要求総額は約505億円で、前年度比約17億円の増額となる。
- 増額の主な要因は、給与改定等に伴う退職手当費や職員給与費の増額をはじめ、水島警察署庁舎建替整備事業の工事経費や電気料金の高騰に対応するための経費を計上したことによるものである。
- 義務的経費のうち人件費の要求額は約386億円で、前年度比約10億5千万円の増加となり、主な理由は令和5年度に定年延長のため減額された退職手当費が増額されたことや、昨年の給与改定に伴い給料や期末勤勉手当が増額されたことによるものである。
- 一般行政経費のうち運営費の要求額は約92億9千万円で、前年度比約5億6千万円の増額となり、全国植樹祭警衛警護に要する経費や電気料金の高騰等に対応するための経費を計上したことによるものである。
- 一般行政経費のうち事業費の要求額は約23億円で、前年度比約4千万円の増額となり、少年非行情勢の更なる改善を図る事業が終了し、減額となる一方で、令和6年度から新たに会計年度任用職員に勤勉手当が支給されることや、新規重点事業として少年健全育成推進事業を計上したことが主な要因である。
- 投資的経費は、水島警察署庁舎建替事業が令和6年度から着工となるため、約2億6千万円を計上したものである。
- 1月16日（火）の常任委員会で要求額を公表し、1月25日（木）と2月1日（木）の常任委員会、2月上旬の予算総括協議会で質疑を受けた後、2月15日（木）の常任委員会で予算額（案）として発表する予定である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「警察施設の大規模な建替や改修を計画しているが、災害支援の充実が図れるような設計を期待している。」

旨を発言した。

## (3) 令和5年度2月補正予算

警察本部から、

- 補正予算協議額は7億9,547万2千円の減額となる。
- 義務的経費のうち人件費が3億7,137万9千円、一般行政経費のうち運営費が3億6,204万9千円、事業費が1,566万7千円、投資的経費の公共事業等費が4,637万7千円、それぞれ減額となっている。

なお、常任委員会への報告までに、更に調整が入ることを御承知おきいただきたい。

- 人件費は、定年前退職者が見込みより増加したことにより退職手当費の増額を行う一方で、職員に支給する給料等は当初見込みより下回ったことから、3億7,137万9千円の減額となった。
- 運営費のうち大きな減額となった警察行政運営費は、電気料金の執行見込額を減額したことに加え、効率的な予算執行によりG7経費等の関連経費を抑えられたことが主な要因となり、2億9千982万4千円の減額となっている。
- 1月25日（木）の常任委員会で協議の後、2月1日（木）の常任委員会で補正予算額として発表する予定である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「大きな減額理由として電気料金のほかに、入札効果もあったということなので、こうした細かなことの積み上げを大事にしていくことを継続していただきたい。」

旨を発言した。

#### (4) 令和5年中の犯罪抑止総合対策推進状況（暫定値）

警察本部から、

- 令和5年中の刑法犯認知件数は9,231件で前年比1,224件増加したが、コロナ禍前となる令和元年と比較すれば、205件減少した。
- 特徴では、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、人流が回復したことが影響し、自転車盗、車上ねらい等の窃盗犯が増加した。
- 犯罪抑止対策の主な取組では、鍵掛けで「安全」・電話対策で「安心」～今こそみんなまで防犯対策！推進キャンペーン～や本部員を動員した街頭犯罪抑止警戒活動等の各種取組を推進した。
- 特殊詐欺の認知件数は182件で前年比23件の増加、被害額は約6億780万円で前年比約2億9,140万円増加した。
- 手口では、件数、被害額ともに架空料金請求詐欺が最多で、被害者に占める高齢者の割合は63.5%で、前年比20.5ポイント減少した。
- 特殊詐欺対策の主な取組として、特殊詐欺被害防止「緊急警戒情報」の発表や、第一生命岡山支社との協働による絵手紙作戦、犯罪実行者募集情報対策として、X（旧ツイッター）のリプライ機能を活用した警告等を実施した。

旨の報告を受けた。

委員が、

「度々情報を発信することによって県民の心に響き、県民が行動を取っていけるようになれば、益々成果に期待が持てると思う。」

旨を発言した。

#### (5) サイバーセキュリティ広報啓発プロジェクト表彰式の開催

警察本部から、

- 岡山県情報セキュリティ協議会主導による初の取組として、専門学校岡山情報ビジネス学院に対し、サイバー犯罪被害防止を目的とした広報啓発用動画及びグッズデザインの制作を依頼した。
- 広報啓発用動画部門14作品とグッズデザイン部門125作品の中から選ばれた優秀作品

に対して、1月22日（月）、警察本部において表彰式を開催する。

○ 1月18日（木）に報道発表を行う予定である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「参加した学生の観点では、社会貢献ややりがいを感じることができるよい取組だと思うので、是非、継続していただきたい。」

旨を発言した。

#### (6) 令和5年中の刑事事件検挙状況（暫定値）

警察本部から、

○ 刑法犯の検挙件数は4,033件、検挙人員は2,804人で、検挙率は43.7%であった。

○ 重要犯罪の検挙件数は160件、検挙人員は167人で、検挙率は100.6%であり、検挙率は前年比2.7ポイント増加し、全国順位は1位であった。

○ 重要窃盗犯の検挙件数は433件、検挙人員は114人で、検挙率は67.6%であった。

○ 特殊詐欺の検挙件数は83件、検挙人員は22人で、22人中13人はキャッシュカードを詐取又は窃取する手口の受け子役であった。

○ 暴力団の検挙件数は66件、検挙人員は73人であった。

○ 薬物事犯の検挙人員は、覚醒剤が70人、麻薬・向精神薬が7人で前年とほぼ横ばいであったが、大麻が106人で前年比7人の増加となり、2年連続で覚醒剤検挙人員を上回った。

旨の報告を受けた。

委員が、

「犯罪を抑止するためには、県民等に協力していただくことも必要である一方、犯罪を犯すと検挙をされるという意識を持ってもらうことも大切だと思う。」

旨を発言した。

#### (7) 令和5年中の交通事故発生状況（暫定値）

警察本部から、

○ 令和5年中の総事故件数は5万727件で前年比2,810件の増加、そのうち人身事故は5,161件で前年比813件の増加であった。

○ 事故による死者数は49人で前年比25人の減少、うち高齢者の死者は29人で前年比15人の減少で、人口10万人当たりの死者数は2.63人となった。死者数は、昭和23年以降2番目に少なく、令和7年までに年間死者数を50人以下にするという第11次岡山県交通安全計画における目標を2年前倒しで達成した。

○ 令和6年は、交通事故情勢を踏まえたきめ細かな交通事故防止対策の推進を重点に置き、

- ・ 交通事故分析等を踏まえた総合的な対策の推進
- ・ 自転車その他の小型モビリティ対策の推進
- ・ 横断歩行者優先ルールの徹底に向けた更なる取組の推進
- ・ 交通事故抑止に資する交通指導取締り

を実施していく。

旨の報告を受けた。

委員が、

「日頃から、交通事故について年齢や時間帯、事故の形態などをしっかり分析していると思うので、その分析結果を県民の方が少しでも理解して自己防衛に徹していただければ、交通事故は減少するのではないかと思う。」

旨を発言した。

(8) 経済安全保障・おかやまネットワーク設立総会の開催

警察本部から、

○ 「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」における令和5年度の重点事業である「守れ！岡山の企業！！経済安全保障対策の強化推進事業」の一環として、経済安全保障対策における産学官連携の強化を図るためのプラットフォームを構築する。

○ 1月26日（金）午後1時30分から午後3時までの間、警察本部において、ネットワークに参画する商工団体、アカデミア及び官公庁の代表者等、約30人が出席し、設立総会を開催する。

○ 1月24日（水）に報道発表する予定である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「経済安全保障は国力に直結する問題で、これまで日本はこの問題への対応が遅かったため、知識や技術が盗まれて国力は大きく低下していると考えられる。

是非、この分野にはしっかりと予算措置を講じていただき、力を入れていただきたい。」

旨を発言した。

(9) 人事案件

警察本部から、人事案件について報告を受けた。

(10) 令和6年度における組織・定員改正（案）の概要

警察本部から、令和6年度における組織・定員改正（案）の概要について報告を受けた。

(11) 非違行為報告（令和5年10月～12月）

警察本部から、非違行為（令和5年10月～12月）について報告を受けた。

(12) 国家賠償請求事件の応訴方針

警察本部から、国家賠償請求事件の応訴方針について報告を受けた。

(13) 大学入学共通テスト会場等防犯警戒の実施

警察本部から、大学入学共通テスト会場等防犯警戒の実施について報告を受けた。

(14) 岡山県サイバーテロ対策協議会第14回総会等の開催

警察本部から、岡山県サイバーテロ対策協議会第14回総会等の開催について報告を受けた。

(15) 災害救助活動時におけるハイブリッドカー等取り扱い安全セミナーの開催

警察本部から、災害救助活動時におけるハイブリッドカー等取り扱い安全セミナーの開催

について報告を受けた。

(16) 令和5年12月中の公安条例許可状況

警察本部から、令和5年12月中の公安条例許可状況について報告を受けた。

(17) 令和5年12月中の小型無人機等飛行通報状況

警察本部から、令和5年12月中の小型無人機等飛行通報状況について報告を受けた。

4 次回公安委員会

令和6年1月25日（木）13時30分から開催予定